



沖縄 JTB 株式会社

沖縄JTB株式会社

2030年のあるべき姿(ビジョン)



当社は“沖縄と共に育つ”をスローガンに、「沖縄の経済発展実現に観光を基軸として貢献する」を経営理念として掲げ、2030年までに全ステークホルダー（社員・お客様・事業パートナー様・地域社会）と共に、ステークホルダーのSDGs活動に貢献しながら、沖縄の観光振興になくてはならない存在であり続けることを目指している。観光の力により、現在の社会課題に取り組みつつ、歴史や文化、自然環境の保全に寄与することで、沖縄県の持続的な成長に貢献し続ける沖縄JTBを確立するために、下記5つの活動・取組に注力する。①デジタルを活用した県内観光事業者の成長支援（経済） ②社員の働きがい向上（社会） ③環境保護・生物多様性保全（環境） ④健全性、透明性、効率性の高いガバナンス（ガバナンス） ⑤沖縄伝統文化・芸能保護育成（地域社会への貢献）

認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	デジタル活用による 観光事業者の収益力向上	観光事業者向けにデジタル流通支援や共通券・周遊券造成を行い、観光客がオンラインまたは県内で当該事業者の商品・共通券・周遊券を購入できるチャネルを拡大することにより、県内事業者の収益性向上につなげる。
社会	社員の「働きがい」向上に 向けた環境整備	社内のSDGs推進委員会、総務企画部内分科会が主幹となり、働きがい向上に向けた環境整備として「ワークスタイルの変革」「年齢/世代への取り組み」を推進する。 
環境	「地球いきいきプロジェクト」の 企画実施	地域住民と社員が協働し、観光地の清掃や自然保全、文化学習など地域特性を活かした活動を通じて、「地域を元気に、人を笑顔に。」する取り組みを推進している。 
ガバナンス	情報セキュリティ対策・ ITセキュリティ対策・ コンプライアンス対策の強化	内部統制システム構築の基本方針等を定め、内部監査により課題抽出・改善を実施。また、ITセキュリティーポリシーを周知徹底する取組を行う。
地域課題への 貢献	沖縄伝統芸能イベント 「杜の賑い沖縄」の 連続開催	地域に埋もれた、あるいは忘れ去られようとしている祭りや芸能を発掘・集約し旅の中で提供するイベントを実施し、伝統文化の保護・育成や若者の創作芸能支援に貢献する。 